

## 事業者の建築基本計画（案）

## 1. 三事業者の施設配置の基本的な考え方

- ・ 都市計画公園及び公共空地で構成される広大なオープンスペースを中心に、各区域の建築物が取り囲むように、賑わい・交流を誘導する特徴的でまとまりのある空間を形成する。
- ・ 既存樹木の活用など、緑の保全と緑化の推進により、緑あふれる空間を形成する。
- ・ だれもが安全に安心して訪れ、行き交い、過ごせる都市空間を形成する。
- ・ 災害時に広域避難場所の一翼を担える空間を形成する。

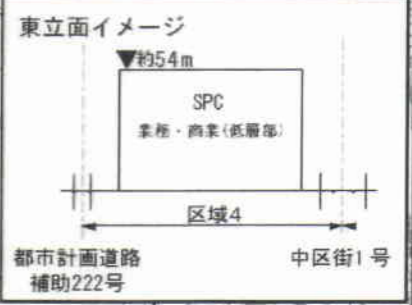
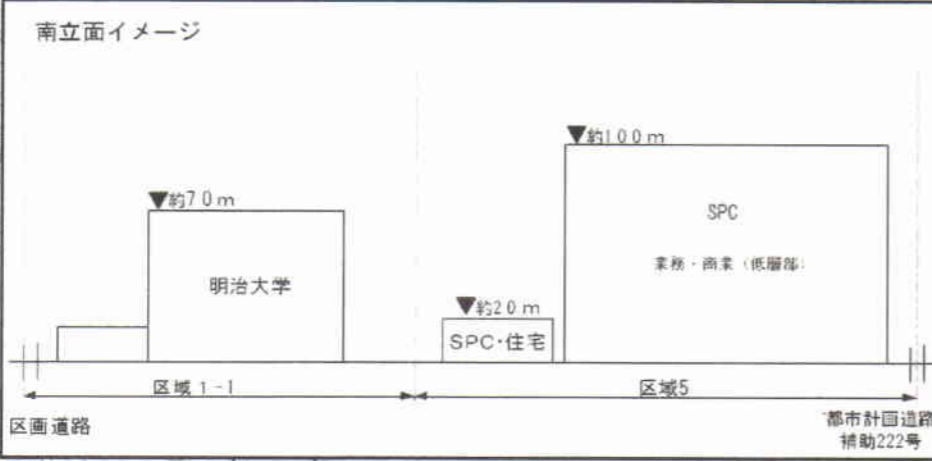
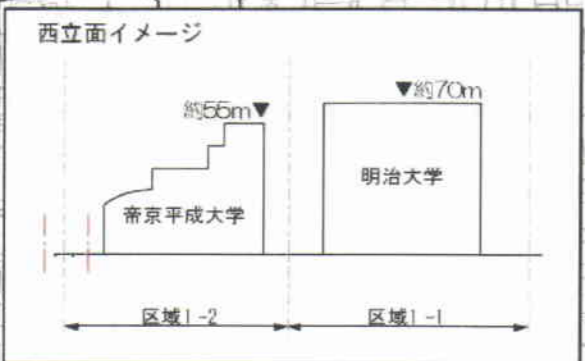
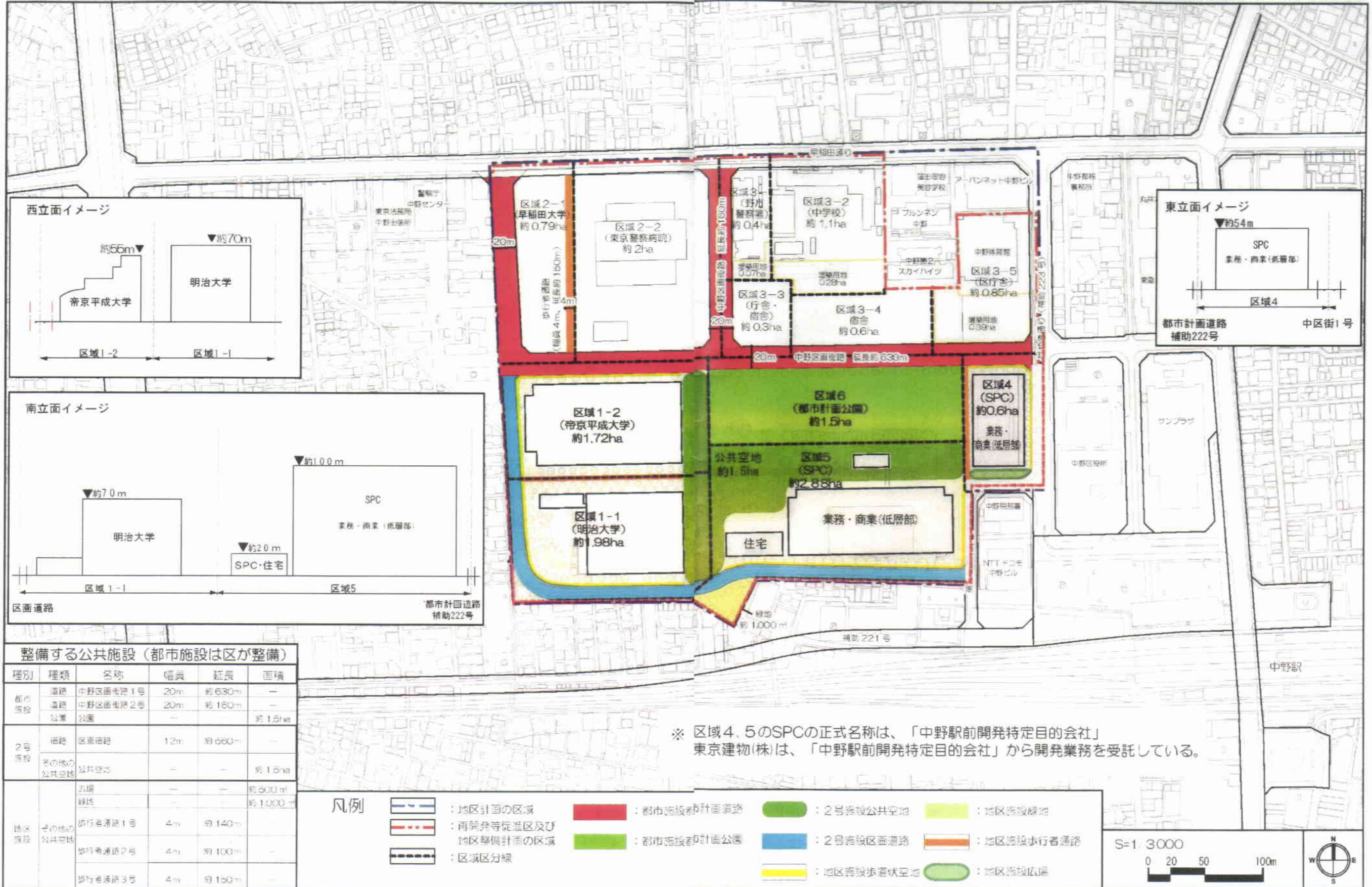
## 2. 三事業者の建築計画概要（施設配置等は資料 2 - 2 参照）

	区域 1 - 1	区域 1 - 2	区域 4	区域 5
事業者	明治大学	帝京平成大学	SPC <sup>※1</sup>	SPC <sup>※1</sup>
敷地面積	約 16,470 m <sup>2</sup>	約 16,020 m <sup>2</sup>	約 6,050 m <sup>2</sup>	約 24,800 m <sup>2</sup>
主要用途 <sup>※2</sup>	学校（大学）	学校（大学）	業務・商業	業務・商業 住宅
延床面積 <sup>※2</sup> （容積対象）	約 64,200 m <sup>2</sup> （約 57,600 m <sup>2</sup> ）	約 62,600 m <sup>2</sup> （約 56,070 m <sup>2</sup> ）	約 38,000 m <sup>2</sup> （約 33,200 m <sup>2</sup> ）	約 154,000 m <sup>2</sup> （136,400 m <sup>2</sup> ） 業務・商業：約 151,500 m <sup>2</sup> 住宅：約 2,500 m <sup>2</sup>
階数 <sup>※2</sup>	地下 2 階 地上 16 階	地下 1 階 地上 12 階	地下 2 階 地上 10 階	地下 2 階 地上 22 階
高さ <sup>※2</sup>	約 70m	約 55m	約 54m	約 100m

※1 区域 4, 5 の事業者である SPC の正式名称は、「中野駅前開発特定目的会社」。東京建物（株）は、「中野駅前開発特定目的会社」から開発業務を受託している。

※2 「中野四丁目地区地区計画」は東京都決定であるため、用途、床面積、階数、高さについては、併行して都と協議中である。

事業者の建築基本計画 (案)



整備する公共施設 (都市施設は区が整備)

種別	種類	名称	幅員	延長	面積
都市施設	道路	中野区画道路1号	20m	約630m	-
	道路	中野区画道路2号	20m	約180m	-
	公園	公園	-	-	約1.5ha
2号施設	道路	区画道路	12m	約660m	-
	その他の公共空地	公共空地	-	-	約1.5ha
地区施設	その他の公共空地	五層緑地	-	-	約600㎡
		歩行者通路1号	4m	約140m	-
		歩行者通路2号	4m	約100m	-
		歩行者通路3号	4m	約150m	-

※ 区域4、5のSPCの正式名称は、「中野駅前開発特定目的会社」  
東京建物(株)は、「中野駅前開発特定目的会社」から開発業務を受託している。

凡例

- 地区計画の区域
- 再開発等促進区及び地区整備計画の区域
- 区域区分線
- 都市施設都市計画道路
- 都市施設都市計画公園
- 2号施設公共空地
- 2号施設区画道路
- 地区施設歩行者通路
- 地区施設歩道状空地
- 地区施設広場
- 地区施設緑地
- 地区施設

